

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田原東町5丁目45番2,45番7	階数	地上2F
建設地	小田原市東町5丁目45番2,45番7	構造	S造
用途地域	近隣商業、工業	平均居住人員	220 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 予定	評価の実施日	2015年7月28日
敷地面積	11,111 m ²	作成者	大和ハウス工業 株式会社
建築面積	6,109 m ²	確認日	2015年7月28日
延床面積	10,366 m ²	確認者	大和ハウス工業 株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	外皮に断熱施工することにより建物の熱負荷低減に配慮した。	その他 0
Q1 室内環境	内装仕上げ材、合板類、塗装剤、接着材はすべてF☆☆☆☆以上を使用する。	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化を行い良好な景観に形成した。
LR1 エネルギー	外皮に断熱施工することにより外部からの熱負荷を軽減している。LED照明器具を採用し一次エネルギーの低減している。	LR3 敷地外環境 地域への風通しに配慮し建物の見付面積を極力小さくするよう努めた。
Q2 サービス性能	快適な空間を回るため天井高を3.6m以上とした。	
LR2 資源・マテリアル	ODP=0の冷媒を使用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される